

# 津波避難訓練アンケート 分析レポート

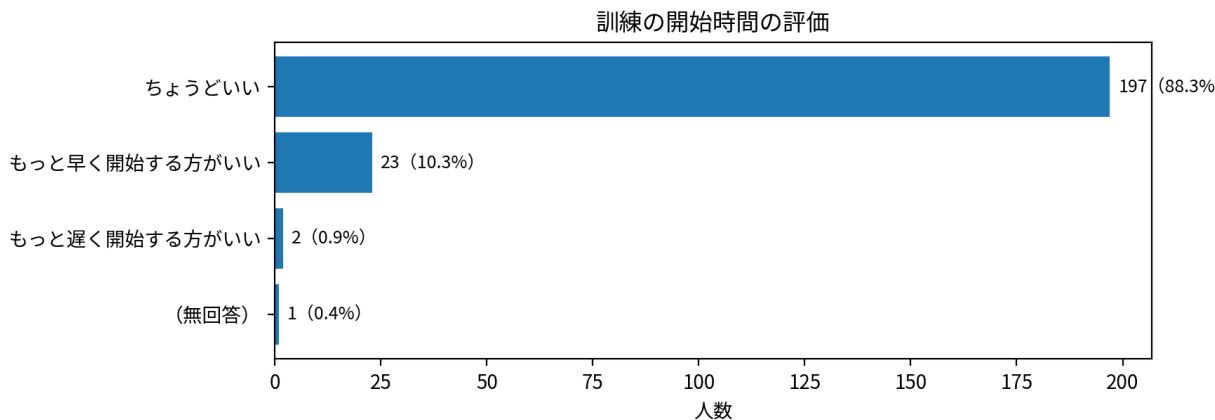
作成日:2025/12/22 / 回答数:223(単純集計の母数)

## 主要ポイント

- 開始時間は「ちょうどいい」が 88.3%(197 人)で大半。
- 避難方法は「徒歩」が 92.4%(206 人)。車(自分で運転)は 12 人。
- 避難時間は「10 分程度」が 86.1%(192 人)。
- 情報入手手段(複数回答)は「津波情報伝達システム(屋外拡声スピーカー)」が 161 件と最多。
- 7 月 30 日のカムチャツカ半島付近を震源とする地震の津波警報等では「避難しなかった」118 人に対し、「避難した」102 人。

## Q1 訓練の開始時間

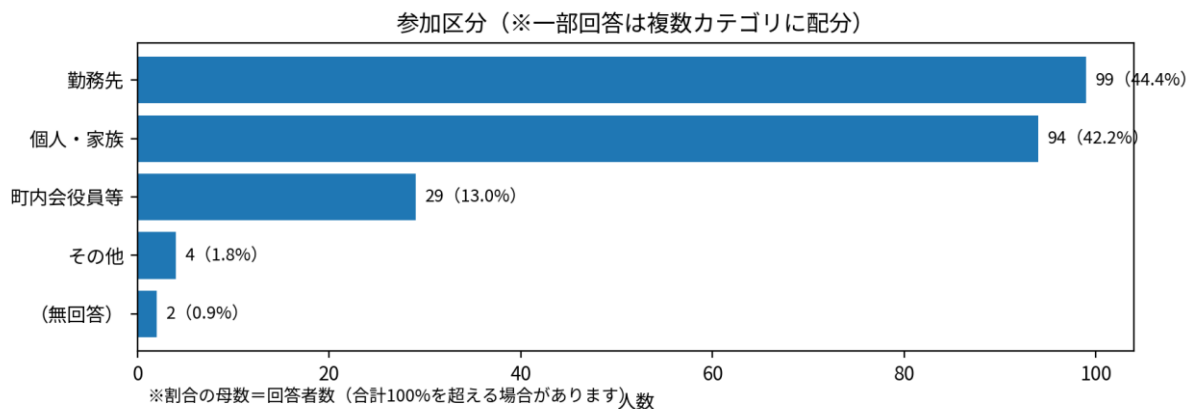
母数:223



| 回答            | 人数  | 割合    |
|---------------|-----|-------|
| ちょうどいい        | 197 | 88.3% |
| もっと早く開始する方がいい | 23  | 10.3% |
| もっと遅く開始する方がいい | 2   | 0.9%  |
| (無回答)         | 1   | 0.4%  |

## Q2 参加区分

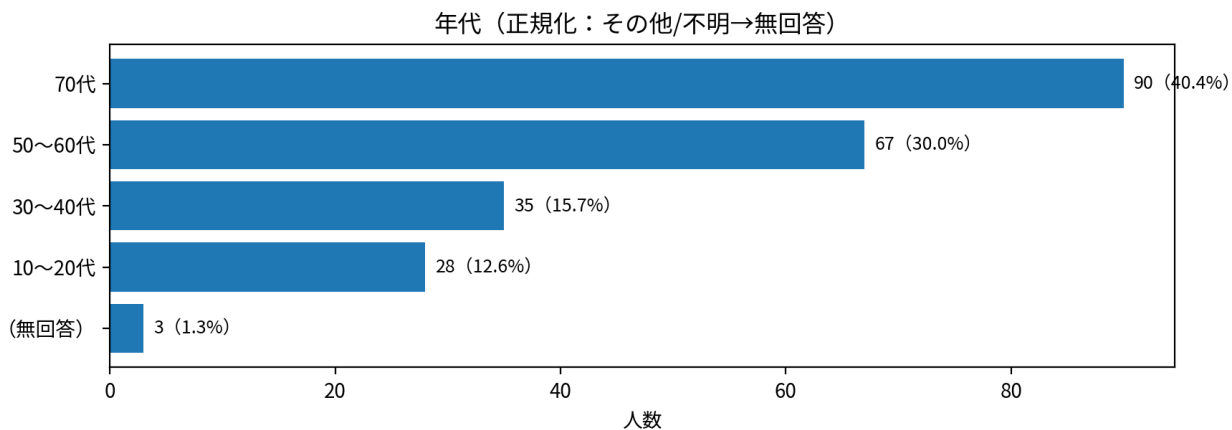
母数:223(割合の母数) / 件数:228(配分後・延べ)



| 回答     | 人数 | 割合    |
|--------|----|-------|
| 勤務先    | 99 | 44.4% |
| 個人・家族  | 94 | 42.2% |
| 町内会役員等 | 29 | 13.0% |
| その他    | 4  | 1.8%  |
| (無回答)  | 2  | 0.9%  |

## Q3 年代

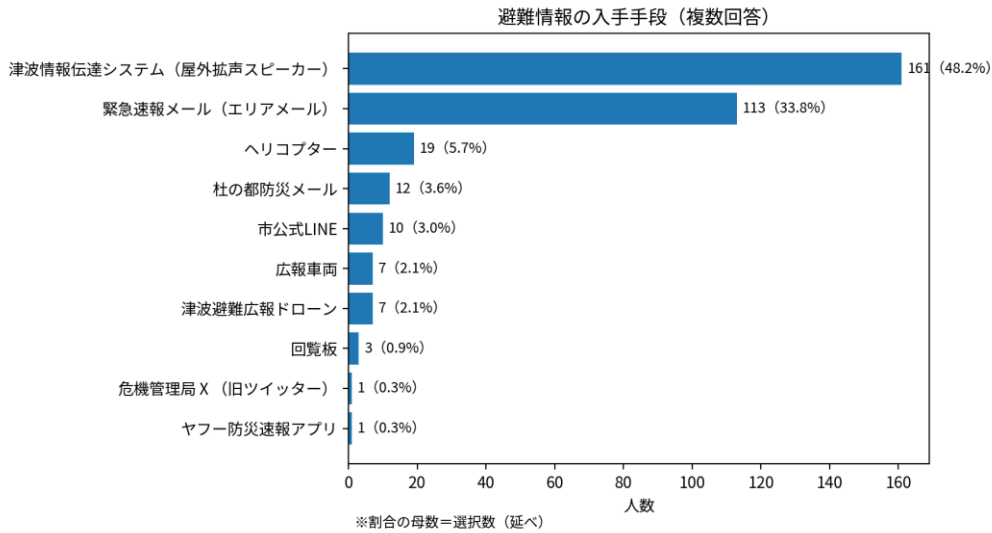
母数:223



| 回答     | 人数 | 割合    |
|--------|----|-------|
| 70代    | 90 | 40.4% |
| 50~60代 | 67 | 30.0% |
| 30~40代 | 35 | 15.7% |
| 10~20代 | 28 | 12.6% |
| (無回答)  | 3  | 1.3%  |

## Q4 避難情報の入手手段(複数回答)

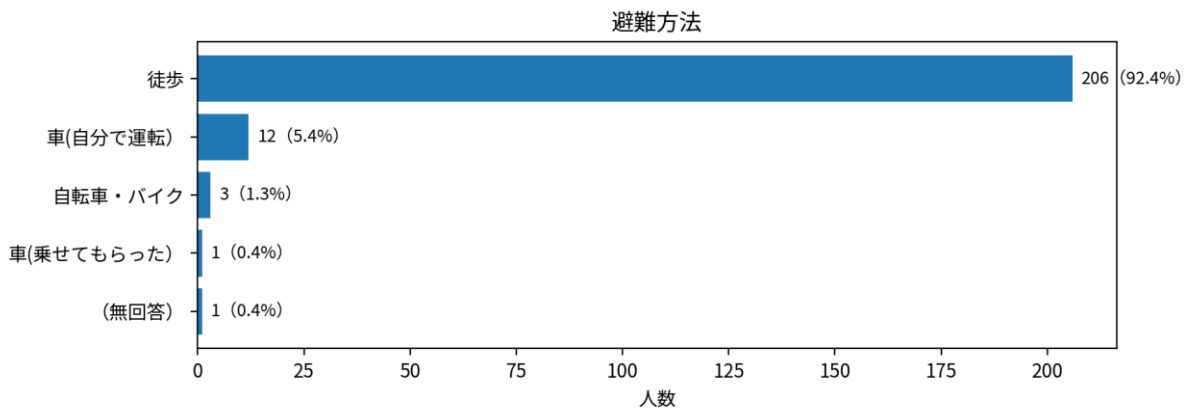
選択数(延べ):334※複数回答(割合の母数=選択数)



| 回答                    | 人数  | 割合    |
|-----------------------|-----|-------|
| 津波情報伝達システム(屋外拡声スピーカー) | 161 | 48.2% |
| 緊急速報メール(エリアメール)       | 113 | 33.8% |
| ヘリコプター                | 19  | 5.7%  |
| 杜の都防災メール              | 12  | 3.6%  |
| 市公式 LINE              | 10  | 3.0%  |
| 広報車両                  | 7   | 2.1%  |
| 津波避難広報ドローン            | 7   | 2.1%  |
| 回覧板                   | 3   | 0.9%  |
| 危機管理局X(旧ツイッター)        | 1   | 0.3%  |
| ヤフー防災速報アプリ            | 1   | 0.3%  |

## Q5 避難方法

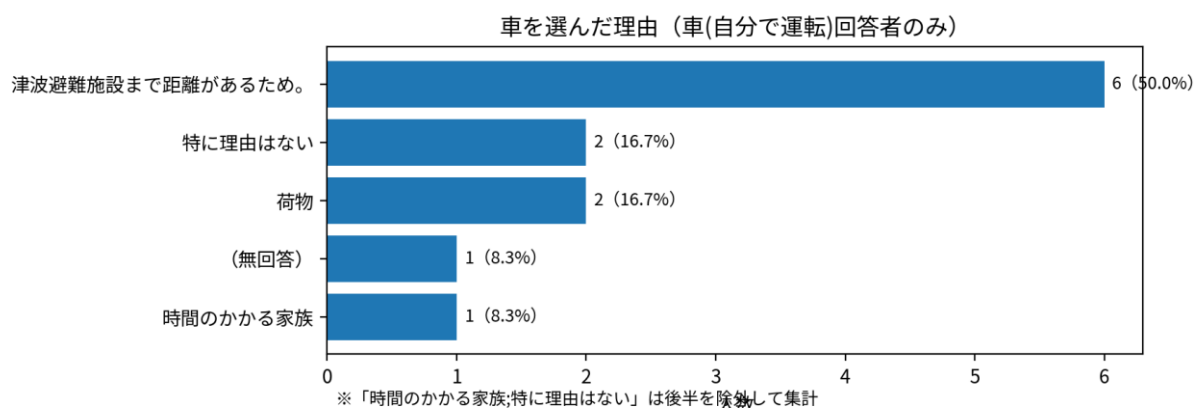
母数:223



| 回答         | 人数  | 割合    |
|------------|-----|-------|
| 徒歩         | 206 | 92.4% |
| 車(自分で運転)   | 12  | 5.4%  |
| 自転車・バイク    | 3   | 1.3%  |
| 車(乗せてもらった) | 1   | 0.4%  |
| (無回答)      | 1   | 0.4%  |

## Q6 車を選んだ理由(車(自分で運転)回答者のみ)

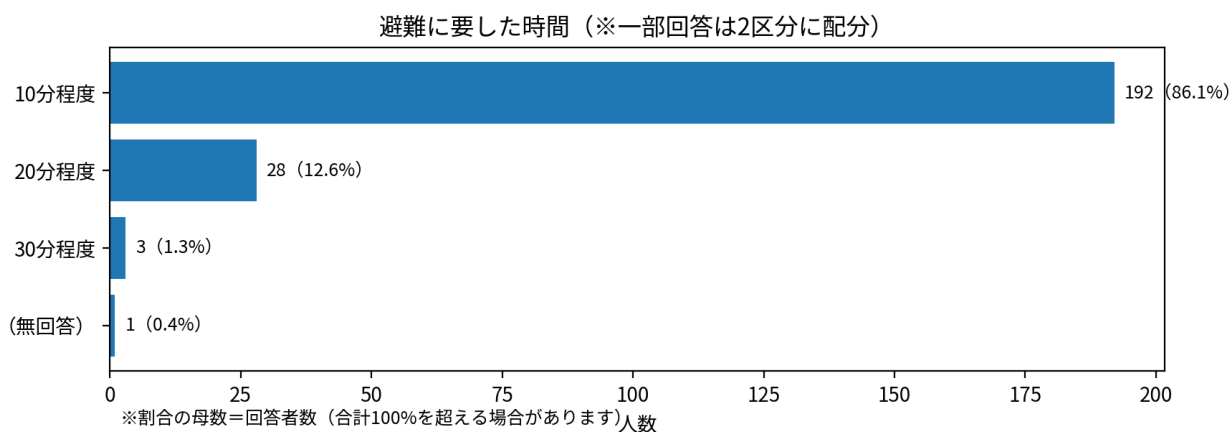
母数:12※母数は「車(自分で運転)」回答者のみ



| 回答               | 人数 | 割合    |
|------------------|----|-------|
| 津波避難施設まで距離があるため。 | 6  | 50.0% |
| 特に理由はない          | 2  | 16.7% |
| 荷物               | 2  | 16.7% |
| (無回答)            | 1  | 8.3%  |
| 時間のかかる家族         | 1  | 8.3%  |

## Q7 避難に要した時間(警報がなってから避難場所に着くまでの時間)

母数:223(割合の母数)／件数:224(配分後・延べ)

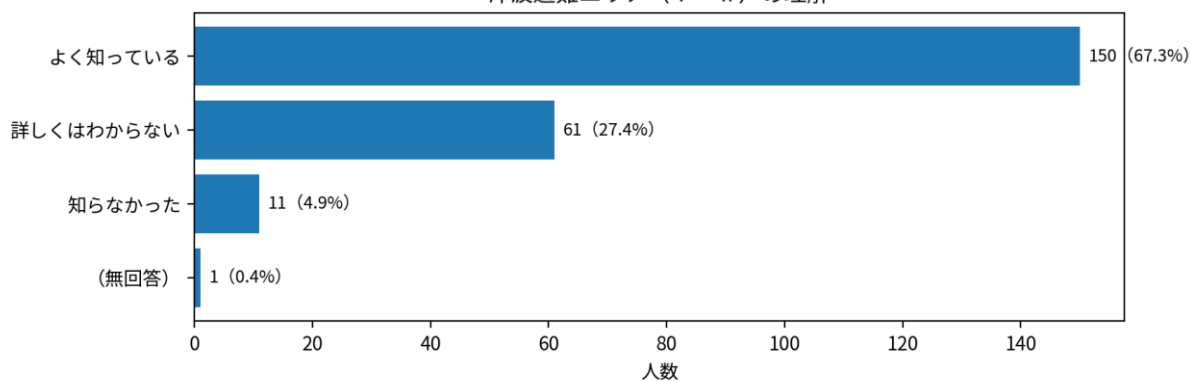


| 回答    | 人数  | 割合    |
|-------|-----|-------|
| 10分程度 | 192 | 86.1% |
| 20分程度 | 28  | 12.6% |
| 30分程度 | 3   | 1.3%  |
| (無回答) | 1   | 0.4%  |

## Q8 津波避難エリア(I・II)の範囲とそれぞれの意味を知っていましたか。

母数:223

津波避難エリア（Ⅰ・Ⅱ）の理解

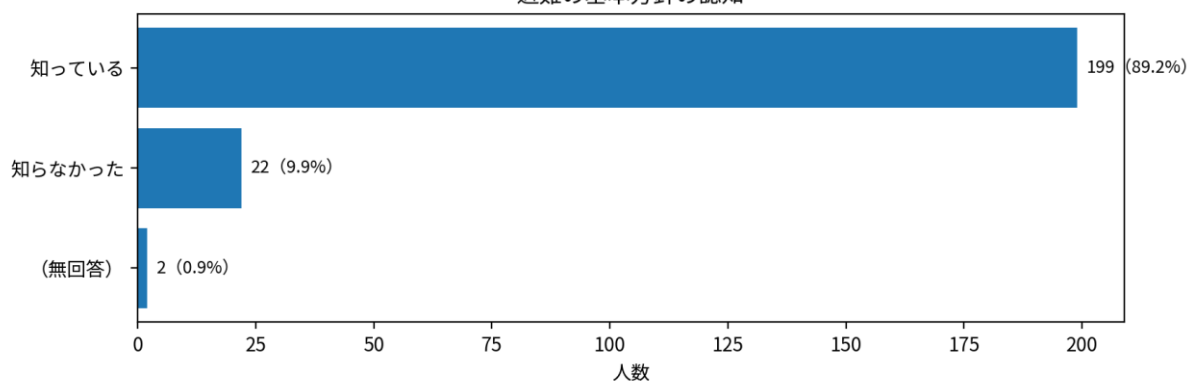


| 回答        | 人数  | 割合    |
|-----------|-----|-------|
| よく知っている   | 150 | 67.3% |
| 詳しくはわからない | 61  | 27.4% |
| 知らなかった    | 11  | 4.9%  |
| (無回答)     | 1   | 0.4%  |

Q9 津波の避難方法は、「津波避難エリア（Ⅰ・Ⅱ）より内陸側へ避難すること」を基本として、「内陸側へ時間的余裕を持って避難することが困難な場合は、津波避難ビルなどの施設・場所に避難すること」を知っていますか？

母数:223

避難の基本方針の認知

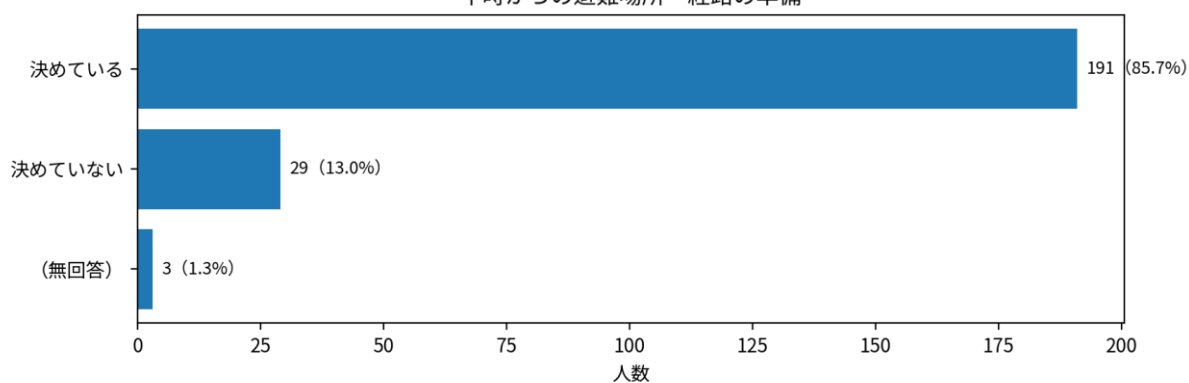


| 回答     | 人数  | 割合    |
|--------|-----|-------|
| 知っている  | 199 | 89.2% |
| 知らなかった | 22  | 9.9%  |
| (無回答)  | 2   | 0.9%  |

Q10 普段(平時)から大津波警報等が発表されたときの避難場所や避難経路を決めていますか。

母数:223

平時からの避難場所・経路の準備

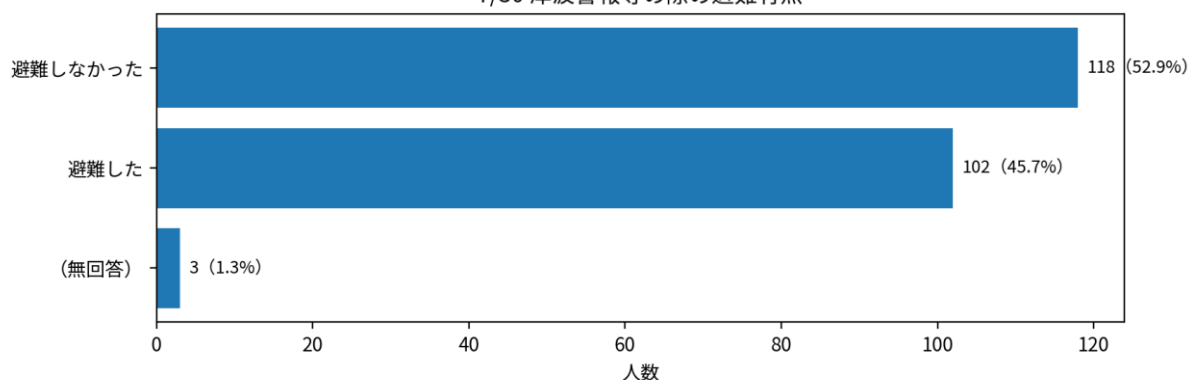


| 回答     | 人数  | 割合    |
|--------|-----|-------|
| 決めている  | 191 | 85.7% |
| 決めていない | 29  | 13.0% |
| (無回答)  | 3   | 1.3%  |

Q11 令和7年7月30日のカムチャツカ半島付近を震源とする地震において津波警報等発表された際、自宅などから避難しましたか。

母数:223

7/30 津波警報等の際の避難有無

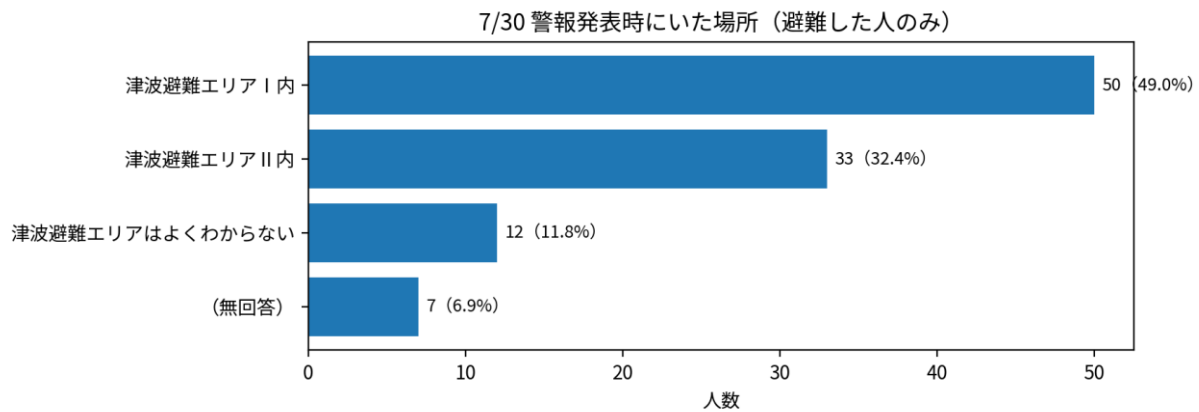


| 回答      | 人数  | 割合    |
|---------|-----|-------|
| 避難しなかった | 118 | 52.9% |
| 避難した    | 102 | 45.7% |
| (無回答)   | 3   | 1.3%  |

Q12 【上記設問11で「避難した」を回答した方のみ】避難した方にお伺いします。警報発表時にいた場所はどこでしたか。

母数:102

※母数は「7/30に避難した」回答者のみ



| 回答              | 人数 | 割合    |
|-----------------|----|-------|
| 津波避難エリアⅠ内       | 50 | 49.0% |
| 津波避難エリアⅡ内       | 33 | 32.4% |
| 津波避難エリアはよくわからない | 12 | 11.8% |
| (無回答)           | 7  | 6.9%  |

今回の訓練について、訓練内容や避難方法などでご意見やご感想などございましたら、自由に記入ください。

自由記述件数:44

### キーワード(簡易カウント)

訓練:9件、車:4件、周知:3件、時間:2件、回覧板:1件、市政だより:1件、スピーカー:1件、徒歩:1件、自転車:1件、避難ビル:1件

### 記載内容

- 本日は大変お世話になりました。/ 毎回しっかりとした避難訓練を実施されて素晴らしいと思いました。今後とも宜しくお願い致します。
- 訓練の事前周知が足りないと思う。/ 昨日町内会の回覧板が回ってきたが、時間的に町内全体にはお知らせが間に合わなかったと思う。/ その内容も具体的なことは何も書いていなかった。/ 一般的市民は参加しているのか、それとも行政だけの訓練なのか、市民が参加するならどういう訓練をするのか、避難所に行くのか、メールが受信できればそれでいいのか?...
- 是非継続していただきたい。訓練は必ず役に立ちます。
- スピーカーの音量が大きく、消防車やヘリコプターの音声聞こえなかった。/ 避難を呼びかけるスピーカーと同じ内容であれば問題ないが、別の情報伝達であった場合は、ヘリや消防車の呼びかけが聞こえないの点は改善すべきだと感じた。
- 実際の避難場所まで自分の足で向かうことができ、避難のイメージができました。ありがとうございました。
- 毎年参加させていただいてます。
- 訓練は必要です。